

我が家の シジュウカラの観察日記 (2022~2025年)



ハンギングポットにとまるシジュウカラ

村上洋一 著

はじめに

2021年、我が家の近くのお宅の電気メーターボックス内に、シジュウカラが巣を作り子が産まれました。2羽の親が頻繁に餌を運んで来て、子の姿は見えませんが順調に育ち、しばらく経って子は巣立っていきました。



このシジュウカラの巣作りにより、シジュウカラは住宅街でも巣作りをすることを知り、2022年7月に我が家の庭に巣箱を2個設置しました。2022年は、巣作りは行われませんでした。2023年、2024年、2025年の3年連続でシジュウカラの繁殖(巣作り・産卵・抱卵・孵化・巣立ち)が行われました。

シジュウカラの繁殖についてネットで調べると以下の記述がありました。

- ・全長 14.5cm、体重約 14g、日本ではほぼ全国に生息
- ・3月下旬頃から巣作りを始め、5月中旬頃に巣立ち
- ・繁殖が始まると雌は毎朝1個ずつ卵を産み、平均8~9個を産卵
- ・産卵が終わると雌が抱卵を開始、13~14日で孵化
- ・孵化後、雌雄の親が子に餌を与え、孵化後10日目以降は頻繁に巣箱に出入り
- ・孵化後20日前後で巣立ち

2023年はこの繁殖の過程をあまり意識しないまま巣立ちを観察しましたが、2024年と2025年はこの繁殖の過程を意識して巣立ちを観察しました。以下に「我が家のシジュウカラ」を、4年間の観察日記で紹介します。

1. 2022年

7月に巣箱を2つ設置しましたが、巣作りは行われませんでした。「3月下旬頃から巣作りを始め、5月中旬頃に巣立ち」ということで、7月の設置は遅すぎました。



パーゴラの上に設置した巣箱①



庭に接する電柱に設置した巣箱②

<巣箱の購入先>

(株)キバコヤ 新潟県村上市岩船北浜町 4-27

HP: <https://kibakoya.com/aboutus>

2. 2023 年

● 3 月 31 日

3 月下旬に庭に取り付けた 2 つの巣箱(巣箱①と②)にシジュウカラがやって来て、巣作りの下見を始めました。パーゴラからベランダの柱に移動させた巣箱①で、3 月末にシジュウカラが巣作りを始めました。巣箱②では巣作りは行われませんでした。



ベランダの柱に取り付けた巣箱①



巣箱①に苔などを持ち込む



庭に接する電信柱に設置した巣箱②



巣箱②の中を覗く

● 4 月 29 日(巣箱の下見から 29 日目)

巣箱に大きな動きが無く心配になったので中を覗いたら、4 羽の子と 3 個の卵がありました。



● 5月1日

孵化した子に親が餌を与えています。



餌を啜えた親が巣箱に入ろうとしています



餌を与えた後、巣箱から親が出てきました

● 5月7日

親が餌を啜えて飛んできて巣箱に入ります。餌を与えると子が鳴き声をあげます。



餌を啜えた親

● 5月15日(巣箱の下見から45日目)

朝から親が来なく巣箱から子の鳴き声が聞こえないので、昨日巣立ちをしたと思います。

● 5月19日

巣箱を開けると中は空で、子のシジュウカラは巣立っていました。巣箱の中の巣を捨て水で洗い、また元の位置に取り付けました。



3. 2024 年

● 5 月 30 日

2023 年に引き続きつがいのシジュウカラがやって来て、ベランダの柱に取り付けた巣箱で巣作り・産卵・抱卵を始めました。



巣箱の中で雌が抱卵中



外で見守る雄

● 6 月 16 日(巣作り・産卵・抱卵から 17 日目)

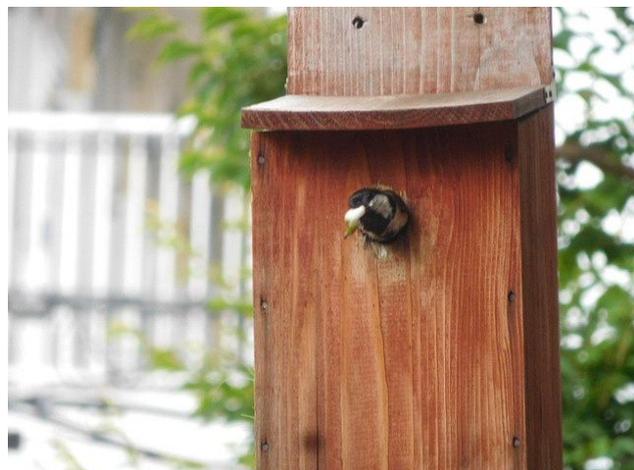
卵が孵化したようで、親が餌を取ってきて巣箱に出入りします。



餌を与え飛び立ちます

● 6 月 20 日

親が餌を取ってきて巣箱に頻繁に出入りします。餌を与えた後、白い棉状のもの(子の糞)を啜って飛び去ります。



● 6月27日

2羽のつがいは、尾の長い雄と尾の短い雌です。餌(青虫、芋虫、クモ、等)を取ってきて巣箱に頻繁に出入りします。子が小さいときは、親は完全に巣箱の中に入り餌やりをしていましたが、子が大きくなると上半身のみ巣箱の中入れ尾を巣箱の外に出した状態で餌やりをします。子の鳴き声が随分大きくなりまもなく巣立ちです。



つがいの2羽



巣箱に入る前



尾の長い雄の餌やり



尾の短い雌の餌やり



● 6月29日(孵化から14日目)

数分おきに親が餌を運んできます。子の鳴き声が日増しに大きくなっています。今朝初めて子が巣箱の穴から顔を出しました。



子が大きくなると中に入って餌やりができず、巣箱の外から餌やりをします。



巣箱の穴の奥に子の顔が見えました



穴から子が顔を出しました。

巣箱の穴から顔を出し、一声鳴きました。

(この写真は神奈川新聞に投稿し、2024.7.10に掲載されました。)



● 6月30日(孵化から15日目)

巣箱からの巣立ちの瞬間は目撃できませんでしたが、早朝 5、6羽が巣立ちました。巣立った6羽の子が巣箱の周囲にいました。子はまだ体が小さく、くちばしは黄色なので子のシジュウカラと判別できます。まだ飛ぶ力が弱いので、電線にとまったり隣家のしだれ梅の木の中にとどまったりしています。



巣立ちのタイミングをうかがう子



電線にとまる子



電線にとまる子、くちばしが黄色



隣家の窓枠にとまる子



隣家のしだれ梅の枝にとまる子



隣家のしだれ梅、中に子があります

● 7月1日

子が巣立ったので巣箱をベランダの柱から取り外し、中を清掃してまた元の位置に取り付けました。巣は約 3cm の厚みの平らな形状で、主に苔、動物の体毛などでできています。



巣立った後の巣箱の中



主に苔、動物の体毛などでできた巣

4. 2025年

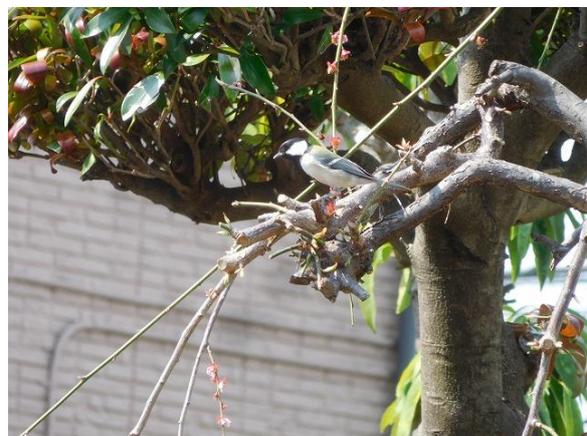
(1) 第1回目

● 3月26日

2023年、2024年に引き続きつがいのシジュウカラがやって来て、ベランダの柱に取り付けた巣箱の中で巣作りを始めました。



ベランダの柱に取り付けた巣箱



隣家の木の枝に止まる



巣作りのため苔を啜って巣箱に入る



巣箱に入れそくなって地面に落ちた苔

● 4月10日(巣作りから15日目)

巣作りが終わり、産卵、抱卵を始めました。



パーゴラの上にとまる雄



畑の支柱にとまる雄



巣箱に入る雌



巣箱から頭を出し辺りを警戒

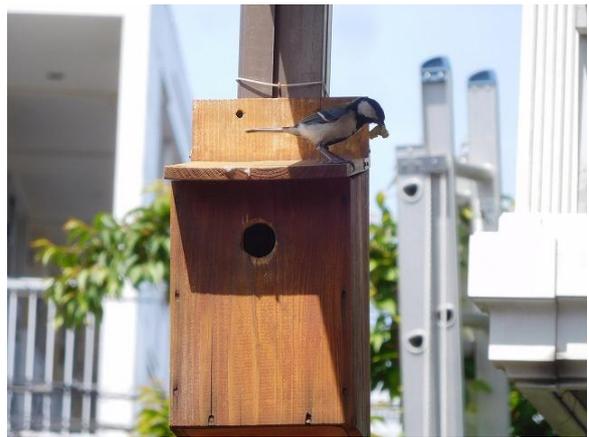
● 4月29日(産卵・抱卵から19日目)

孵化したようで、親が子の餌を運んできます。子に餌をあげた後、巣箱から頭を出し辺りを警戒します。



● 5月12日

子が大きくなったようで、雌雄の親が子に与える餌を頻繁に運んできます。



● 5月16日

子が大きくなると親は巣箱の中に入って餌をやることができず、上半身のみを巣箱に入れ餌をやります。



青虫を咥え巣箱に入ろうとする親



上半身を巣箱の中に入れ餌を与える

● 5月18日

子が大きくなると食欲旺盛になり、ペアの親が頻繁に(5分に1回程度)餌を運んで来ます。餌を与えた後、親は巣箱の中から白い棉状もの(子の糞)を咥え外に運んで行きます。



巣箱の入口に飛び込みます



上半身を巣箱の中に入れ餌を与える



一羽が餌やり中、もう一羽が餌を運んで来ました



餌を与えた後、糞を啜え巣箱から出て行きます

● 5月20日



餌を啜えて飛んできて入口にとまります



入口から顔を出した子に餌を与えます

● 5月22日



茶色のカマキリを取ってきました



子が口を大きく開けています



つがいの親と巣箱の中の子



巣箱の穴から頭を出した子

● 5月23日(孵化から24日目)

朝8時半から9時にかけて4羽の巣立ちを確認しました。(全部で5、6羽巣立ったかわかりません。)巣立ってしばらくは我が家の庭の周囲にいます。



親が餌をおとりにして巣立ちを促します



穴から顔を出し、巣立とうとしています



巣立って紅カナメの葉の中に
飛び込みました



紅カナメの葉の中に飛び込んだ子



巣立ちのタイミングをうかがう子



巣立った後、うまく飛べなくて地表に落ちた子



パーゴラにとまる子



パーゴラにとまる子



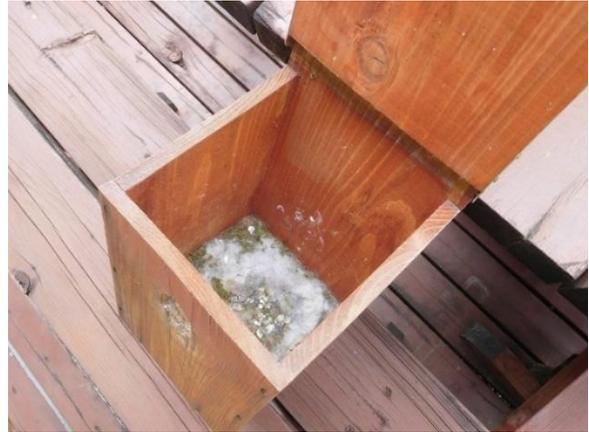
隣家の屋根の雨どいにとまる子



まだうまく飛べなくて我が家の庭を歩く子

● 5月24日

子が巣立ったので巣箱をベランダの柱から取り外し、中を清掃してまた元の位置に取り付けました。(巣作りは1シーズンに1回または2回、稀に3回ほど行うことがあるそうです。)



子が巣立った後の巣箱の中



主に苔で作られたフワフワの巣
縦、横 13cm 厚み 5cm



巣を取り除き水洗いをした巣箱

巣作りの際、シジュウカラは一切鳴かないで巣作りを行うので、どのくらいの頻度、期間で巣の材料(苔、動物の体毛、等)を運んで来ているかは分かりません。厚み約 5cm の巣を作るには相当量の材料が必要で、かなりの回数材料を運んできたと思われます。その労力には驚きます。

<補足> (出典:インターネット)

シジュウカラの子が大きくなった頃、スズメが頻繁に巣箱周辺に来るようになってシジュウカラと争っています。スズメも巣箱で繁殖する習性があるので、シジュウカラの巣箱の乗っ取りを図っています。

シジュウカラの巣箱の出入り口の直径は 28mm で、直径が 30mm 必要なスズメは入ることができないので、巣を乗っ取られることはないそうです。

(2) 第2回目

● 6月6日

我が家には巣箱が2つあり、ベランダの柱に取り付けています。巣箱①では2023年、2024年、今年2025年と3度の巣作り・子の巣立ちが行われました。

今日つがいのシジュウカラがやって来て、これまで3年間で一度も巣作りが行われなかった巣箱②で巣作りを始めました。



● 6月15日(巣作りから9日目)

産卵のため雌が巣箱に出入りしています。雄は外で見守っています。巣箱は居間の窓から1mの距離にあるので、室内からシジュウカラの生態が観察できます。



● 6月24日(産卵から9日目)

雄が餌をくわえて巣箱に来るようになりました。



● 7月8日(孵化から14日目)

餌をくわえた親が、頻繁に巣箱に出入りしています。



● 7月13日(孵化から19日目)

つがいの親が終日巣箱の周囲で巣立ちを促しましたが、今日は巣立ちませんでした。



● 7月14日(孵化から20日目)

13時から14時半の間に巣立ちしました。2羽は巣箱から巣立ちの瞬間を目撃、3羽は巣立ち後の子を目撃、他に2、3羽巣立ちしたと思われ、全部で7、8羽巣立ったと思われます。



巣箱から頭を出しました。



足を出し巣立ちします。

巣立ちした子は飛ぶ力と物をつかむ力が十分でないので、地面に落ちたり色々な場所に飛んでいきます。



地面



庭の外構フェンス



ラティスフェンス



パーゴラの上

● 7月15日

シジュウカラの子は、巣立ち後数日間は巣箱の周りで過ごすそうです。巣立ちは我が家の南側の巣箱で行われましたが、今日の午後は我が家の北側で過ごしていました。2羽の親が見守りと、取ってきた餌を与えていました。



隣家の立木にとまる子



子に餌を与える親

巣箱を開け巣を取り出し中を清掃し、また元の位置に取り付けました。



巣箱の全面の扉を開けました。



縦、横 13cm 厚み 4cm

2025.7.20 記